

令和2年度

学校自己評価表(当初計画及び年度末総合評価)

学校運営計画			
学校運営方針	「自主自律」「求真窮理」「協調責任」「誠実感謝」の精神の下、個性豊かな社会人の育成をめざし、全人的教育を推進するため、以下を実現するべく学校を運営する。 (1)主体的に学問を追究しようとする生徒を育てる学校 (2)佐渡から世界へと視野を広げる生徒を育てる学校 (3)佐渡の発展に貢献できる生徒を育てる学校 (4)生徒が安心して学び、生活することができる学校		
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的な目標(能力の育成)	
		具体的な取組(方策は各分掌で設定)	
主体的・対話的な授業やICTの活用等を進め、授業力向上及び授業改善を進めた。生徒の進路希望の達成において、国公立大学の推薦が増加するなど成果がみられたが、目標とした国公立大学進学者の対卒業生比率25%には若干届かなかった。しかし、粘り強く挑戦を続け、後期試験や補欠での合格を勝ち取る者など、年度の重点目標に掲げた生徒を育てることができた。長期欠席者や原級留置者は減少させたが、在籍異動者が再び増加した。学校不適応等による転退学、特に1年生初期の不適応を防ぐなどの課題を克服するため、特別支援教育推進体制の充実やスクールカウンセラーの活用等の教育相談の充実と教員の対応力向上を進めていく。 また、生徒指導においては生徒の規範意識も向上し、大きな問題行動の発生はなかったが、いじめの認知件数は7件あった。重大事案に至る前に、個別面談やアンケートなどで生徒の悩み等を掘り上げ、いじめ見逃しゼロを目指した取組を続けていく。	(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。 (2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。 (3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。 (4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	
		【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な学習の時間等におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	
		【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	
		【自己理解及び共感力の育成】 ・総合的な探究の時間等における探究活動・職業講話の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	
成果	今年度の目標に掲げていた事柄について、3つの目標は一定の成果を収めたことと各分掌・学年・教科の評価を踏まえ、令和2年度の総合評価をAとする。いじめマニュアルは教職員の指導に浸透し、いじめ認知も円滑に行われているが、様々な事案等もあり、保護者への伝達や情報共有等の円滑化は次年度の課題である。新しい教育課程の編成について、教務部及び各教科の意見をカリキュラム委員会でとりまとめ、県教育委員会に上程した。 また、進路目標について、国公立大学合格者数50人(延べ数)を達成するとともに、難関国公立大学にも5人の進学者を出すことができた。 次年度の課題として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今年度は各種学校行事の中止、変更を余儀なくされた。社会情勢とも関わるが、これらを円滑に実施していくことが1つの目標であり、1年の学級減の中での対応も必要である。さらに、今年度増加した転学などの在籍異動者数を一定程度減じていくことも課題である。	総合評価	
			A

【教務部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	シラバスを作成し、より効果的な授業展開を研究する。	A	A
		個々の生徒の力に応じた学力向上のための指導を実施し、一層の学力定着を図る。	A	
		指導力向上のための研修を実施し、職員個々人の研鑽を図る。	B	
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	生徒の実情を把握するため、個別面談等を実施しやすいような行事・時程等の環境を整える。	A	A
		総合学習委員会等、各分掌と連携し、限られた条件の中でも生徒の学習や活動がしやすい環境を充実させる。	A	
		各種奨学金等、進路実現のためのサポートを行う。	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	チャイムにより生徒が整然と行動できる環境を作る。	A	B
		ボランティア活動の案内を実施し、生徒が積極的に参加できる環境を整える。	C	
		教具・教材等の充実を図り、指導を行いやすい環境を整える。	A	
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合学習委員会等、各分掌と連携し、探求活動や職業講話・道徳教育等の時間を確保する。	A	A
		生徒会との連携により、各種行事の充実を図る	A	

【生徒指導保健部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	朝の校門立番指導を通年でを行い、遅刻の減少、朝学習の心構えを醸成する。	A	A	A
		健康調査・健康診断・健康観察により、生徒情報を把握し、授業に全力で取り組めるよう支援する。	A		
		清掃指導を強化し、好ましい学習環境をつくる。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	いじめアンケートを実施し、問題の早期発見・早期解決を図る。	A	A	A
		教育相談や特別支援教育の体制を整え、支援を必要とする生徒に対応する。	A		
		個別支援シートを活用し、問題を抱えた生徒の情報共有、対応を図る。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	年3回の頭髪服装検査を行い、全員合格を目指す。	A	A	A
		長期休業前に注意喚起を行い、問題行動を未然に防ぐ。	A		
		保健指導を行い、健康管理を積極的に行う意識を啓発する。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	生活委員・保健委員を指揮し、活動の活性化を図る。	A	A	A
		SNS授業を実施し、トラブルの減少を目指す。	A		
		交通講話を実施し、事故防止と交通マナーの遵守を図る。	A		

【進路指導部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	放課後補習や長期休業中の補習を実施する。	A	A	A
		進学・就職の小論文・作文・面接指導を実施する。	A		
		大学教授・予備校講師による進路講演会を実施する。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活用やサステナビリティ学の実施	学年会や職員会議で進路シラバスを確認し、共通理解を図る。	A	A	A
		進路希望状況調査を実施し、生徒の進路希望を把握する。	A		
		全国模試などの分析を行い、各学年生徒の現状理解を図る。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	進学・就職の面接指導を実施する。	A	A	A
		大学講義体験などを実施する。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	適性検査などを用いて自己理解を図る。	A	A	A
		大学講義体験などを実施する。	A		

【特活部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	各部活動や大会参加を通じて、技能及び精神力の向上と努力することの大切さを学ばせる。	A	A
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な学習の時間等におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	生徒会諸行事に主体的に取り組むことを通じて、自発性・協調性・責任感などを身に付けさせる。	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的な生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	生徒会諸行事に企画・運営を通じコミュニケーション能力を高まるとともに、学校としての一体感や情報の共有を図る。	A	
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	HR活動・部活動を通じ他者と関わる中で、自己を見つめ自己の役割を果たしつつ他者理解に繋げる。	A	

【渉外部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	PTA会報や同窓会会報、会合を通して、学校行事の様子や部活動の成績を保護者や同窓生に周知させる。	A	A
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	PTA会報や同窓会会報、会合を通して、佐渡高校独自の教育活動を周知させる。	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的な生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	会報や会合を通して、佐渡高校生が基本的な生活習慣をきちんと身につけていることを周知する。	A	
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合学習やサステナビリティの活動に、佐渡高校の生徒が積極的に参加し、佐渡の将来について深く考えていることを会報や会合などを通して周知する。	B	

【図書情報部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	ICTを用いた授業力の向上を目的として、電子黒板等に関する研修会を実施する。	A	A	
		ICT機材や情報システムを補修・整備し、授業等で活用できる状態を保つ。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活用やサステナビリティ学の実施	生徒の進路実現に資する図書を購入し、また周知する。	A	A	A
		小論文指導に資する図書を整備する。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的な生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	学校のWEBページを随時更新し、生徒の活動のようすを校外外に発信する。	A	A	
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	図書館オリエンテーションを実施し、適切な図書館の使い方を指導する。	A	A	

【1学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	ICTを活用し、理解しやすい授業を行う。	A	A	
		進学希望者向けと不振者向けの補習を実施する。	A		
		学校行事に積極的に参加し、充実した学校生活を送る。	B		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。	A	A	A
		放課後等の時間を利用し、学期に1度以上の面談を行う。	A		
		適性検査などで自己理解を深め、職業講話などを通じて多様な職業を知る。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的な生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を大切にし、人と関わる機会をもたせる。	A	B	
		学年集会、LHR等で基本的な生活習慣や規範意識について指導する。	A		
		ボランティア活動を学年集会等で周知し、積極的参加を促す。	C		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	グループで「佐渡を知る・考える」探究活動を行う。	A	A	
		学年集会、LHR等でルール・マナーを遵守することの大切さを理解させる。	A		
		学習と部活動での成長効果を理解させ、積極的に取り組むような指導を徹底して行う。	B		

【2学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	課題や小テストを計画的に実施する。	A	A	A
		ICTを活用して、理解しやすい授業を行う。	A		
		各種補習を計画し実施する。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	計画的に個別面談や進路指導を行う。	A	A	A
		各種講演会や進路探究を通じて、自分の進路について考える。	A		
		セルフチャレンジプランを通じて社会貢献の意識を高める。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的な生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を励行し、円滑な人間関係形成の意識を高める。	A	B	A
		行事や部活動を通してコミュニケーション能力やリーダーシップを養う。	A		
		社会活動への参加を促し、仲間と協働して活動する機会を持たせる。	C		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	セルフチャレンジプランを通して、地域理解・国際理解・自己理解を深める。	A	A	A
		行事や部活動を通じて、他者の意見を客観的に聞く姿勢を養う。	A		
		修学旅行事前の平和学習や修学旅行、人権教育、SNS教育等を通じて、社会的・個人的な規範意識を高める。	B		

【3学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	各教科・科目で小テスト等を計画的に実施する。	A	A	A
		教員が1時間毎に目標を示し、それを達成できるよう取り組ませる。	B		
		補習、サテラインを計画し参加するよう促す。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	進路シラバスの内容を理解し、それに沿った指導を行う。担副で協力し、必要に応じて適宜、個別面談・進路相談を行う。	A	A	A
		総合的な学習の時間を通じ、学問的探究活動と合わせ進路希望を明確にさせ、それを実現化させる指導を行う。	B		
		探究活動やサステナビリティ関連の活動を通して得た経験を自己の進路進路実現に活かすよう促す。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的な生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を大切に、よりよい人間関係の構築に努めさせる。	A	A	A
		行事や部活動で学校をリードすると共に、その意識を後輩に伝承する。	A		
		必要な生徒には、地域・島内行事などの共同活動に積極的に参加するよう促す。	B		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合的な学習の時間の活動などを通じ、自己理解を深めさせる。	A	A	A
		生徒会活動や部活動を通して他人を思いやる。	A		
		朝読書・朝学習を実施して、静かに学習する雰囲気をつくる。	A		